



KITARYU OSHIMA

主催 喜多流能の会

大島久見十三回忌追善能

平成二十八年十二月二十三日(祝) 十二時半始

喜多流大島能楽堂

能 経 政 大島伊織

狂言 鎌 腹 千五郎改メ 茂山千作

能 道成寺 大島衣恵



芸術文化振興基金助成事業

お話

三浦裕子

経政

シテ 大島 伊織

ワキ 宝生 欣哉

大鼓 亀井 忠雄
小鼓 横山 晴明

笛 杉 信太郎

後見 高林 白牛口二

金子 匡一
大島 輝久

地謡

松井 俊介
佐々木多門
金子 敬一郎
友枝 昭世
長田 郷
長島 茂

休憩十五分

狂言 鎌腹

千五郎改メ
男 茂山 千作

女房 松本 薫
仲裁人 網谷 正美

後見 島田 洋海

仕舞

藤戸 大島 政允
実盛 友枝 昭世

地謡

佐々木多門
大村 定
出雲 康雅
内田 成信

休憩十五分

能 道成寺

シテ 大島 衣恵

ワキ 宝生 欣哉

ワキツレ 大日方 寛
ワキツレ 御厨 誠吾

正邦改メ
間 茂山 千五郎
茂山 茂

大鼓 亀井 広忠
小鼓 横山 幸彦

太鼓 前川 光範
笛 杉 信太郎

後見 塩津 哲生

長田 驍
狩野 了一

地謡

塩津 圭介
金子 敬一郎
高林 呻二
内田 成信
大村 定

鐘後見

大島 輝久
佐藤 寛泰
佐々木多門 友枝 真也

狂言 鐘後見

松本 薫
島田 洋海
山下 守之

終了予定 午後五時頃

■ 曲目解説

経政 つねまさ

平経政は琵琶の名手で、幼少の頃より仁和寺御室御所の法親王の寵愛を受け、青山という銘器を賜るほどであった。しかし一ノ谷の源平の戦で討ち死に、若い命を散らす。法親王はその死を悼み、僧都行慶に命じて経政が愛した青山を手向け、管弦講の法事を営む。琵琶の音に引かれるように経政の霊が現れ、花鳥風月を愛でた昔を懐かしみながら琵琶を奏で、夜遊の舞樂に興じる。二転、修羅道の苦しみが襲い掛かると経政は我が身を恥し、灯火を吹き消して暗闇へと姿を消すのだった。

道成寺 どうじょうじ

紀州道成寺で釣り鐘再興の法事が催される。訳あつて女人禁制の場に白拍子の女が入り込み、鐘の供養のためと舞を舞いはじめた。人々が夢現になつた隙に女が鐘に飛び入り、鐘は煮ええたぎつて落ちてしまふ。住僧は鐘にまつわる恐ろしい女人の執心の物語を語ると、鐘に向つて祈禱する。鐘から女人の執心が蛇体となつて現れ、住僧達と格闘するが遂に祈り伏せられ、日高川の波に飛び入つて消えてゆく。
能楽師の登竜門と言われ各役に習い事の多い演目。特にシテと小鼓の一騎打ちのような乱拍子は独特の緊張感がある。この曲のためだけに準備される釣り鐘の作り物、それを引く鐘後見など他の曲にない演出で見どころの多い曲である。



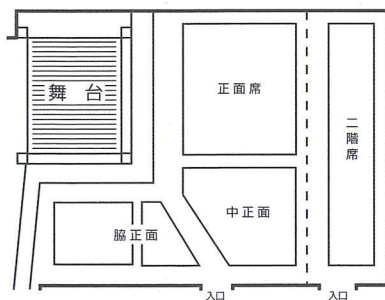
■ 挨拶

故大島久見の十三回忌追善能を催す運びとなりました。ご出勤下さる三役の皆様方、友枝昭世師はじめ流儀の皆様、また関係各位のご尽力に厚く御礼申し上げます。此の会では衣恵に道成寺を、孫の伊織に経政を初能として勤めさせます。ご来場の皆様には、至らぬながら道志す者達の今後のためご高覧賜り、忌憚なきご批評賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

能大島家四代目 大島 政允

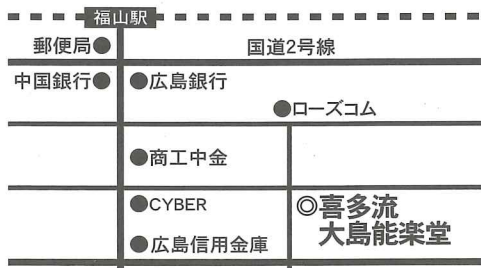
■ 鑑賞案内

喜多流大島能楽堂座席表



鑑賞券 8/25(木)より発売

正面指定席…………… 12,000円
脇・中正面指定席…………… 10,000円
二階自由席…………… 6,000円



福山駅より徒歩15分 バス停『商工中金前』

喜多流大島能楽堂

広島県福山市光南町2-2-2
TEL.084-923-2633
FAX.084-923-8730
osimano@orange.ocn.ne.jp
www.noh-oshima.com

